

たはら

令和6年9月3日



田原小 HP

2学期の始業式～生徒指導担当や防災担当のお話を一部抜粋します。

<生徒指導担当より>

36日間の長い夏休みが終わりました。8月29日の始業式は台風10号の影響もありましたが、無事に始業式を行うことができました。この2学期では、「こんなことをしたい」「こんなことをできるようになりたい」と希望に胸を膨らませている子はどれぐらいいますか？反対に、「夏休みにいやなことがあった」とか「2学期を迎えるのに何となく不安な思いをもっている」という子もいるのではないのでしょうか。そういった気持ちも大事にしてほしいし、一人で抱えずに誰かにお話ししてほしいのです。いやな思いや不安な気持ちがある子の中で、「じゃあ、この先生に相談してみよう」と、今、頭の中に思い浮かんだ先生はいますか？そういった先生がいれば、ぜひお話をしてみてください。「直接、お話しするのは恥ずかしいな」という子はタブレットを使ってもいいかなと思います。いやな思いや不安な気持ちを心の中にためておくと、2学期の良いスタートが切れません。先生たちは、皆さんの力になりたいと思っています。皆さんが前向きな気持ちで2学期をスタートしてほしいと思っています。

<防災担当より>

8月9日には、気象庁は「巨大地震注意」の臨時情報を出しました。さらに、夏休み終わりから2学期初めにかけて台風による土砂災害警戒情報等の発令もされました。このようなときにどのような備えをすればよいのでしょうか。ここでは2つのことをお話しします。

まず、避難場所や避難経路を知っておくことです。皆さんが学校にいる間に地震が起こったら、落ち着くまでは家に帰らずに学校にいるようになります。もしも家にいるときに地震がおきたら皆さんはどの道を通ってどこに避難するのか知っていますか。お父さんやお母さんが外出しているときに地震が起こることもありますから、しっかり家の人と話し合っておきましょう。

さらに、食料品やラジオ、携帯ライトなどの災害用の備蓄品は、家のどこに置いてあるか知っていますか。これについても、もしも「知らない」という子は、家の中に自分しかいないときに地震が起こった場合にすぐに持ち出せるように、今日、家に帰ったら家の人に聞いておきましょう。

<校長の話は学校HPに掲載しています。ぜひご覧ください。>

始業式の様子



2 学期以降の学校の取り組み

1 学期には学校評価アンケートに回答をいただき、ありがとうございました。この結果から 1 学期の教育活動を多面的に振り返ることができました。田原っ子が「いい顔」で生活ができるようこれからも御協力よろしくお願ひいたします。今回の結果を基に、2 学期以降の学校の取り組みについて、全職員で検討をしました。ここでは「学習面」と「生活面」に分けて記載をさせていただきます。

1 学習面での取り組みについて

(1) チーム担任制について

93.5%の子どもが、チーム担任制自体を「良い」と回答しています。「話せる先生が増えてうれしい」「相談が出来る先生が増えて良かった」「わたしが困っているのに気付いてくれてうれしいから」などこれまで以上に多くの先生と話せることを喜んでいるようです。さらに、91%の子供が「授業で学習したことはよく分かる」と回答し、「授業が楽しみになった」などの言葉も多くみられます。

なお「良くない」と答えた子どもの中には、「もっといろんな先生とやりたい(同じ先生の授業が多い気がする)」「まだ指導してもらってない先生もいるのでもう少しばらけたほうが良い」など今後の期待も伺えました。

保護者の皆様も、約 95%が「チーム担任制は良い」と肯定的な意見を寄せてくださいました。「子どものやる気が先生によってかなり変化することが分かった」「沢山の先生と関わりがあり、興味深い話があったり分かりやすく教えていただいたりしていると聞いている」「たくさんの先生が子どものことを知ってくれるという安心感がある」「授業が楽しかった、面白かったと話してくれる」など、子どもの学習や生活意欲が高まり、家庭内で学校のことを良い表情で話している事が伺えました。中には、『先生のようにになりたい』と思える理想像が増え大人への夢を描けるので良い」「今後もチーム担任を継続してほしい」「田原小ならではのチーム担任制をブラッシュアップしながら確立してほしい」など今後への期待も多く寄せられました。チーム担任制は高い評価と期待を得ていることから、今後も充実発展を図りたいと考えています。そのために、以下の 2 点を検討し実践をしていきます。

ア 教科担任の変更と少人数指導・合同授業について

2 学期以降もさらにいろいろな先生と授業ができることへの期待と、2 学期にまたシャッフルすると不安との声もあります。そこで、2 学期の教科担任変更は以下のように授業への期待や学習効果を目指した取り組みとします。

- ① 子どもたちがいろいろな先生と授業する楽しさを味わってほしいと考え、2 学期以降、教科担任の変更をします。ただし、すべての教科での変更ではありません。
- ② 単学級において、児童のつますきに合わせた授業を展開し、知識や技能の定着を図るための少人数指導を進めていきます。特に個人差が大きい算数が効果的ではないかと考えています。
- ③ 異学年や同学年による合同授業を継続します。1 学期に実施した異学年の合同授業では、子ど

もたちの学び合いに「いい顔」が見られました。2学期以降は、教科担任と時間割を変更し、さらに合同授業を組みやすくしました。多くの友達との関わりから技能・考え方・表現力などに触れる機会を持つことで、さらに学習意欲や知識・技能の向上につながることを期待できます。そして、互いに関わり合う中でよりよい人間関係づくりにもつながると考えます。今後、例えば、図画工作や音楽等の技能教科における発表会等の合同授業を検討しています。

なお、上記の指導を進めていく中で、子どもたちの思いをじっくり聞きながら、子どもたちが混乱しないような支援のあり方を検討していくようにします。

イ 学級担任のローテーションについて

チーム担任制における「担任チェンジ」について、これまで保護者の皆様には、①低学年部と高学年部の2つのチーム内で担任を交代していくこと ②担任以外の先生とも仲良くなれるチャンスになることと説明をしてきました。しかし、保護者から「どの先生に相談してよいか迷う」「子供が先生に深く相談しづらいようだ」との意見もいただいたことから、1学期を終えて学級担任をチェンジすることの意味合いを再度検討しました。

今後は、数日から1週間程度の期間でチーム職員が各学級に順に入っていく、児童の様子や集団での表われを複数の教員の視点でみとり、授業以外での学級集団のありようをチーム職員で評価し、その都度指導を入れていきます。このことで子ども同士のトラブルなどを早期に対応したいと考えています。そして、ローテーション期間以外は、もとの学級担任に戻ることとします。

したがって2学期以降は、名称も「担任チェンジ」から「チーム職員の学級ローテーション」に変更します。

(2)家庭学習のあり方について

保護者の皆様から「家庭学習が少ない」「学力が身についているか心配」という声を複数いただきましたが、一方で「習い事をして忙しい子もいるだろうから今のままでよい」「量的に多すぎずありがたい。自分の好きなことに使う時間を持っている」という声も複数名ありました。さらに「家庭学習などその日その日でバラエティがあると子供がもっとやる気を持って取り組める」と質的改善を求める意見もありました。

2学期以降の家庭学習は、6月6日に配布した学校だよりNo.2にも記載したとおり、授業とのつながりを意識した家庭学習の継続とともに、学校で学習したことの定着や家庭における学習習慣作りを目指したものとします。具体的には以下の内容で取り組みます。

- ① 基礎学力定着のための復習があります。例えば「書き取り」や「算数（反復）」です。
- ② 次の授業へ見通しを立てるための予習があります。例えば「音読」や「調べ学習」です。なお、「音読」は国語に限らず社会や理科等も想定しています。
- ③ 3年生以上は、自ら学ぶ力を高めたり、発展的な学習に取り組んだりする「自主学習」があります。1週間に1ページ以上を目安に声掛けをしていきます。

2 生活面での取り組みについて

「学校が楽しい」と肯定的な回答をする子どもが全体の 91.1%、「お子さんは、学校生活を楽しく感じていると感じる」に肯定的な回答をした保護者も 88.7%となっています。概ね子どもたちは学校を楽しい場所であると認識していますが、逆に見れば少数でも学校が楽しいと感じられていない子どももいるということであり、今後も個別に支援を行っていく必要があるとか感じています。

友達関係を見る質問として 92.5%の子どもは「困ったことや分からないことを相談できる友達がいる」、89.1%の子どもは「自分の学級は、約束やルールを守り友達と協力し合っている」と回答しています。ピアサポートトレーニングによる対人スキルを学んだ上に、異学年交流による子ども同士のかかわりの機会を多く持たしたことにより、まわりの友達への信頼感や安心感を得ている子どもが増えていると考えられます。なお、子どもたちが実際に行っているピアサポートトレーニングは 11 月の学校保健委員会で保護者向けに行いますので、多くの方の来校をお待ちしています。

(1) 異学年交流のあり方について

委員会活動による異学年交流イベントを高学年児童が運営し、多くの子供たちが活躍する楽しい学校づくりにもつなげていきます。これらの取り組みにより多くの子どもが様々な分野で自らのよさを発揮できる機会を増やしていきます。

(2) アセス等を用いた子ども理解

「子どもたちの相談しやすい雰囲気づくりを」「担任と生徒の信頼関係が築けているか心配」との声をいただきました。今年度から、チーム担任制やピアサポートトレーニングを行ったことによる効果を、客観的データを基に検証したいと考え、年間4回「アセス」という効果測定ソフトの活用をしています。本ソフトは6因子から子供理解を分析することができ、特に「友人サポート」「非侵害的関係」「向社会的スキル」などはまさにピアサポートによって伸ばしたいことになるし、「生活満足感」因子からは学校だけでなく日常生活全般の満足感も図ることができるものであり、この結果をもとに個への面談を進めていくこととしています。1 学期末の個別面談では、担任からこのアセス結果をもとにした話があったことと思います。

2 学期以降は、アセス結果を参考にし、チームとして子ども理解を深めていきます。

学校評価アンケート結果では、「なかなか良い小学校だと思う」「校長先生が今年で定年退職なさると聞き、とても残念」「校門で交わす校長先生との朝の挨拶の光景は素敵。子供たちは校長先生の『おはよう』で笑顔になる」などの言葉を多数いただき励みになっています。田原小学校の学校経営目標は「田原っ子をいい顔に！」です。そのために保護者も教職員も「いい顔！」で過ごすことが子どもの「いい顔！」につながると考えます。2 学期も保護者や地域の皆様の御理解・御協力のもと教育活動を進めていきます。よろしくお願いたします。



